

青葉通駅前エリアのあり方検討協議会 第4回ワーキンググループ(利活用編)

1. ビジョン策定までのプロセス、これまでの協議会・WGの内容整理
2. 第3回利活用WGの振り返り
3. これまでの意見
4. エリアづくりの視点作成に向けて
5. 社会実験の目的
6. 12/22 第5回 利活用WG内容(案)

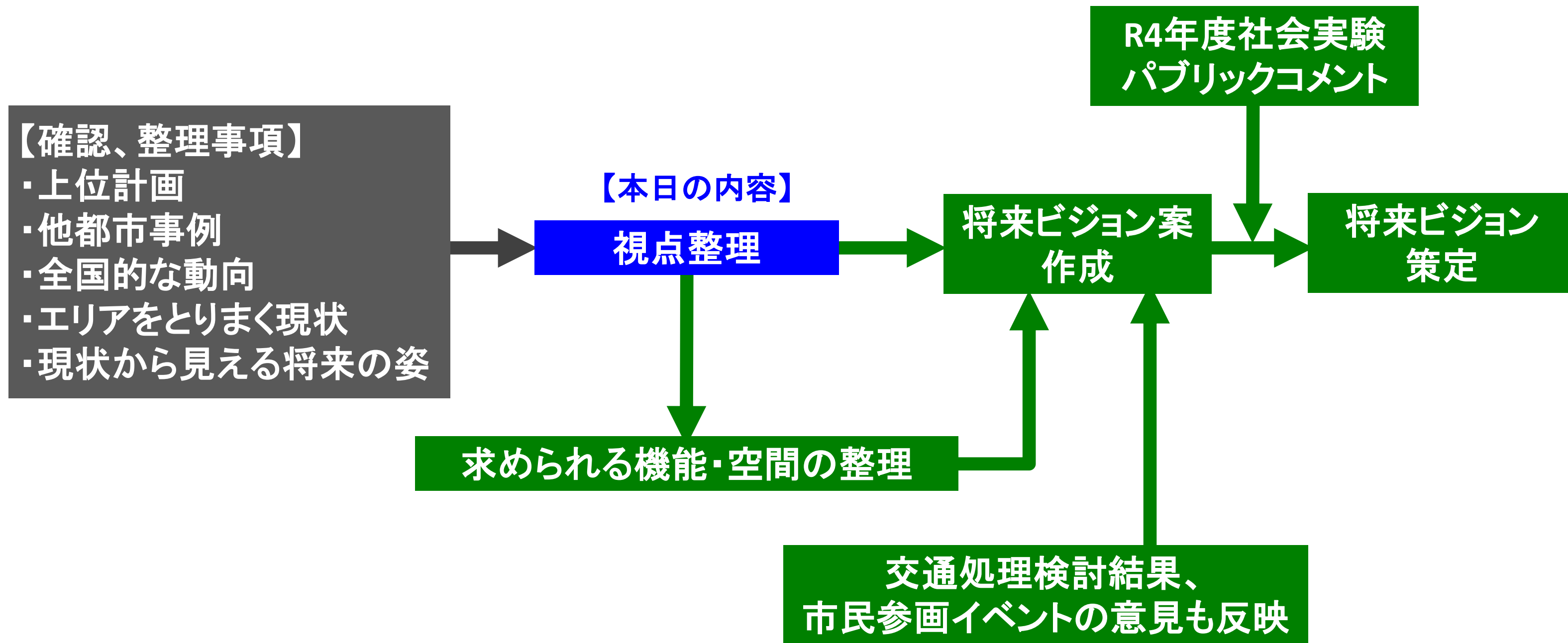
1. ビジョン策定までのプロセス これまでの協議会・WGの内容整理

1. これまでの協議会・WGの内容整理

<p>6月1日 第1回協議会</p>	<p>仙台市が策定した各種計画における仙台駅周辺及び青葉通の位置付けについて</p> <p>【各種計画から抜粋した仙台駅周辺及び青葉通に関するキーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①仙台の顔・東北の玄関口 ②杜の都の象徴・緑あふれる市街地形成・緑空間や景観の創出 ③東北の中核・高度な機能の集積・国際競争力のあるビジネス環境の整備 ④賑わい空間の創出 ⑤回遊性の向上 居心地が良く歩きたくなる歩行空間の創出 ⑥防災環境都市・防災対策・帰宅困難者の一時滞在場所の確保 	
<p>ワーキンググループ</p>	<p>説明内容</p>	<p>確認事項</p>
<p>7月9日 第1回ワーキンググループ</p>	<p>・他都市における道路空間利活用の事例紹介</p>	<p>・他都市の事例 ・全国的な動向</p>
<p>8月6日 第2回ワーキンググループ</p>	<p>・動向を踏まえた現状の確認、整理 ・SWOT整理(強み、弱み、機会、脅威の提示)</p>	<p>・エリアをとりまく現状の確認</p>
<p>11月1日 第3回ワーキンググループ</p>	<p>・将来の姿について</p>	<p>・現状から見える将来の姿を提示</p>
<p>12月1日 【今回】 第4回ワーキンググループ</p>	<p>・エリアづくりの視点作成に向けて</p>	

1. ビジョン策定までのプロセス(予定)

あり方検討: 青葉通駅前エリアのあるべき姿の検討=将来ビジョン



2. 第3回利活用WGの振り返り

2. 第3回利活用WGのふりかえり（将来の姿について）

各種統計データ等

②年少人口の減少⇒若年層の減少

- 年少人口増減率は、宮城県が18位。東北5県がワースト5を占めている。
⇒来街者の多くを占める若者が激減し、西口の来街者が減少

10年間の年少人口減少率（2012年～2021年）

順位	県名	年少人口減少率	年少人口減少数
1	東京都	6.4%	+95673人
2	沖縄県	-1.4%	-3546人
3	福岡県	-2.2%	-15397人
⋮			
18	宮城県	-10.4%	-31658人
⋮			
40	山梨県	-15.8%	-17768人
41	高知県	-16.0%	-14618人
42	和歌山県	-16.5%	-21182人
43	山形県	-17.8%	-26216人
44	福島県	-18.1%	-47297人
45	岩手県	-18.7%	-30854人
46	青森県	-21.5%	-36435人
47	秋田県	-22.5%	-27283人

2. 第3回利活用WGのふりかえり（将来の姿について）

各種統計データ等

⑤ 歩行幅員が十分でない歩道空間

- 青葉通駅前エリアの歩道幅員は幅 9 m。しかし、バス待ち乗客が並ぶ場合、実際の歩道幅員は約 2 m 程度
⇒ 歩道幅員は十分とは言えない。また、通過するだけであり、来街者に居心地よく歩きたいと感じてもらうことはできない

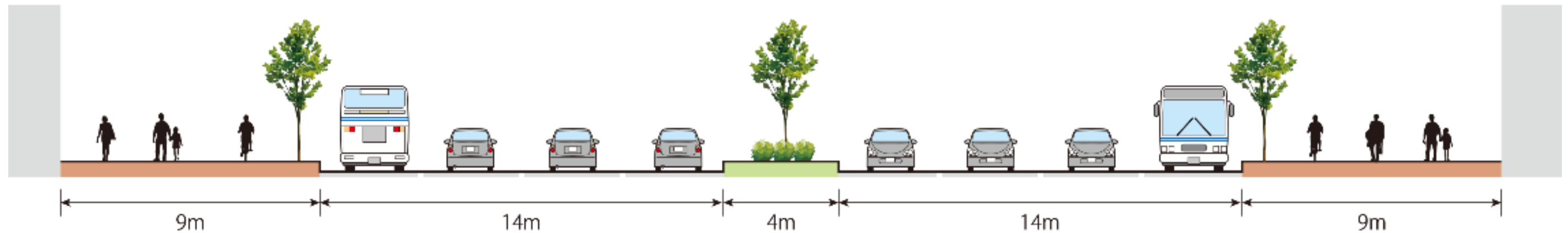


図 駅前区間の断面構成



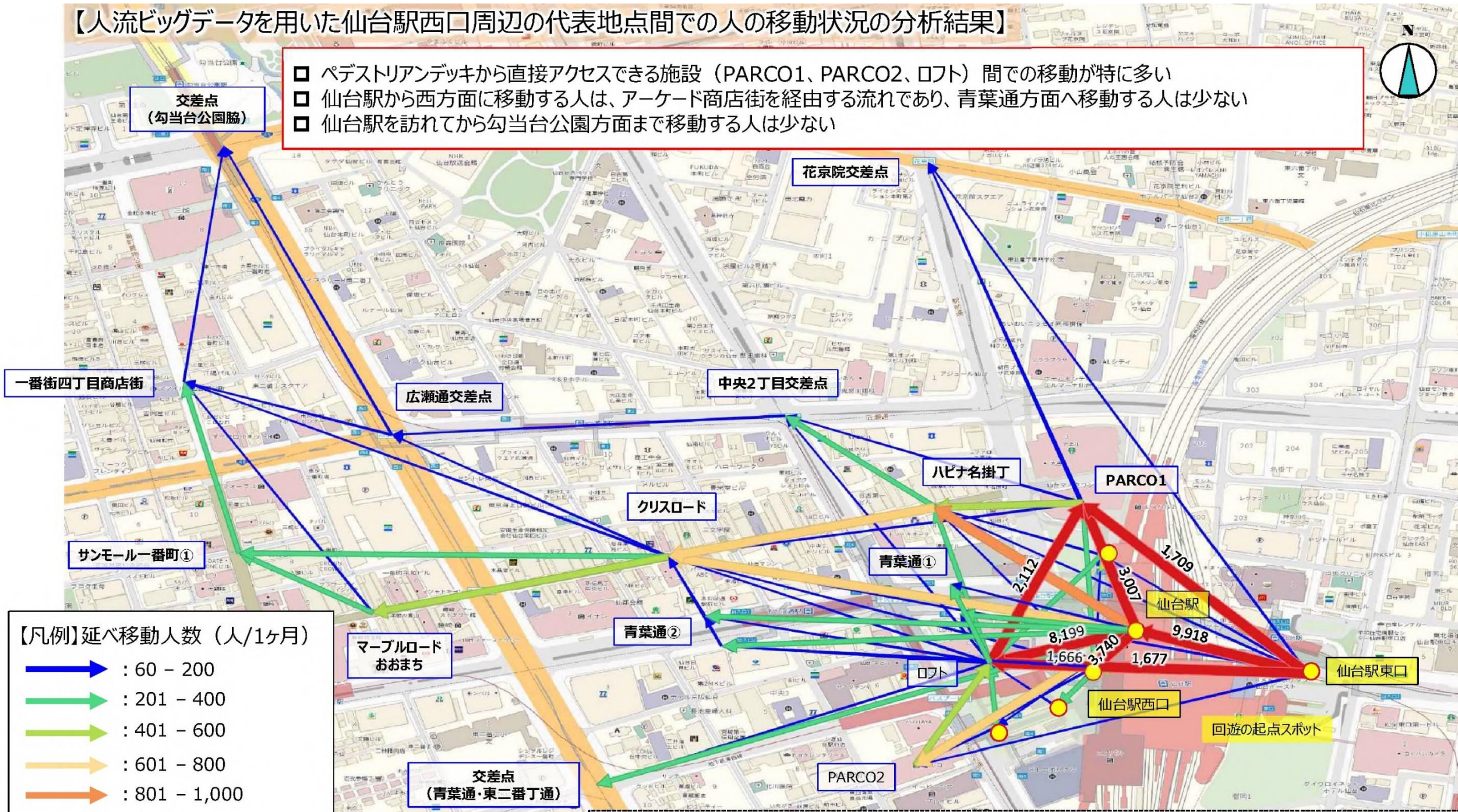
2. 第3回利活用WGのふりかえり（将来の姿について）

各種統計データ等（人流ビックデータ 仙台駅起点）

⑥ペDESTリアンデッキと東西自由通路だけで回遊

- 仙台駅、駅西口、駅東口⇔西側への人の移動を見ると、仙台駅周辺に集中。
- 仙台駅周辺に人が集まり、回遊しているが、青葉通駅前エリアには人があまり集まっていない状況

【人流ビックデータを用いた仙台駅西口周辺の代表地点間での人の移動状況の分析結果】



（分析期間：2019年10月 分析データ：「ジョルテ」ログデータ※ 分析対象人数：10,287人/1ヶ月）

※株式会社ジョルテのカレンダー&スケジュールアプリ「ジョルテ」を利用するユーザーのログデータ

2. 第3回利活用WGのふりかえり（将来の姿について）

各種統計データ等から見る青葉通駅前エリアの将来

①コロナ禍をきっかけに
テレワークやECが浸透

②少子高齢化により
若年層が減少

③他都市では、
駅前空間をリニューアル

④周辺エリアの活発化

⑤歩行幅員が十分でない

⑥ペDESTリアンデッキと
東西自由通路だけで回遊

ビジネスマンの出社・
出張機会の減少

リモート授業も増え
学生の通学機会が減少

来街者、若者が減り、
賑わいが低下

オフィス空室が増加し
地域活力の衰退

他都市、
周辺エリアの魅力向上

魅力がなく、居心地よく
歩けない歩行者空間

人が来ない

青葉通駅前エリアの
ブランド力が低迷

国内、世界のみならず
都心内でも
相対的な評価の落ち込み

企業・人が
他都市へ流出

価値が低下

2. 第3回利活用WGのふりかえり（将来の姿について）

賑わいとは？

● 仙台駅周辺は、歩行者が多い。
しかし、人がたくさん歩くだけ（通過するだけ）で、「賑わいがある」と感じるでしょうか

● 人が「集まり、滞在し、交流し、活気がある」と感じられることが「賑わい」ではないでしょうか
⇒ 実現すれば、来街者に青葉通駅前エリアは居心地がよく、
また来たいと思ってもらえるのではないのでしょうか

⇒ 現状はどのような状況でしょうか



平日朝の勾当台公園駅



平日13時頃の青葉通駅前エリア

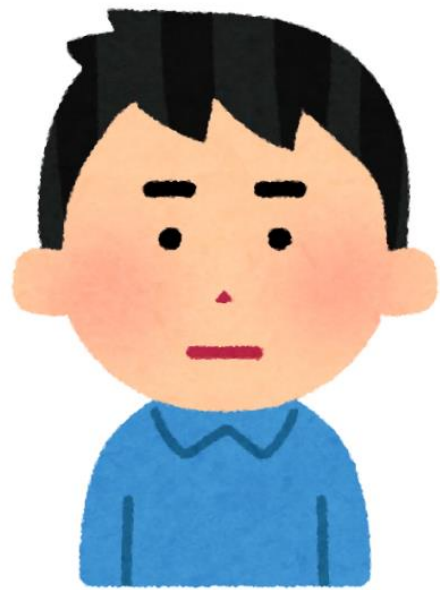


平日19時頃の青葉通駅前エリア

2. 第3回利活用WGのふりかえり（将来の姿について）

仙台の顔とは？

- 「まち」にも表情があるのではないか



2. 第3回利活用WGのふりかえり（将来の姿について）

仙台市の上位計画 仙台市が目指したい青葉通駅前エリア

【各種計画から抜粋した仙台駅周辺及び青葉通に関するキーワード】

- ① **仙台の顔**・東北の玄関口
- ② 杜の都の象徴・緑あふれる市街地形成・緑空間や景観の創出⇒**みどり**
- ③ **東北の中核・高度な機能の集積・国際競争力のあるビジネス環境**の整備
- ④ **賑わい**空間の創出
- ⑤ **回遊性の向上 居心地が良く歩きたくなる**歩行空間の創出
- ⑥ 防災環境都市・**防災対策・帰宅困難者の緊急避難場所**の確保

【A】

賑わい（④） + 緑（②）がある青葉通駅前エリア
⇒緑がある空間の中で、人が集まり、滞在し、交流し、活気がある⇒仙台の顔（①）
⇒回遊してみたい、居心地が良く歩きたいと来街者に感じてもらう（⑤）
⇒国内外から人が集い、交流でき、楽しめるまちへ

【B】

【A】+ 都心再構築プロジェクト（老朽化した建物の建て替え、ニーズにあったオフィス整備）
⇒東北の中核・高度な機能の集積・国際競争力のあるビジネス環境の整備（③）

⇒多様なイノベーションが生まれ、働く場所として選ばれるまちへ

【C】防災環境都市として、防災対策・帰宅困難者の緊急避難場所の確保

➡ 上記を踏まえ、皆様と「あり方検討」を行っていきたい

3. これまでの意見

3. これまでの意見

エリアにおける将来の「特徴、個性」に関すること

- ・仙台の「顔」
- ・このままでは、街の魅力がかなり下がってしまうのでは。**仙台の特色を押し出す**
- ・**仙台への来訪を増やすための重要な場所**
- ・人が集まり、都心に流れていく場所。スムーズに移動してもらい、都心全体の人の流量を上げる
- ・大型ショッピングセンターでは得られない空間の使い方
- ・理想としては必要に応じて歩道空間を広げる等、**フレキシブルに運用**
- ・**市民の誇り、さすが仙台！**と感じてもらえる場所

3. これまでの意見

エリアにおける将来の「表情」（人の感情や活動）に関すること

- ・**表情豊かな場所**であるべき
- ・スムーズに**楽しみながら移動**してもらおう
- ・**大型ショッピングセンターでは得られない体験**ができる
- ・**安全、安心**な場所（災害時にも対応できる）

3. これまでの意見

エリアづくりの「姿勢」に関すること

- ・「**どういった街を目指すか**」という**理念は変えず**、**社会の変化に応じて詳細を変える**
- ・失敗するかもしれない、難しいから「やめよう」ではなく「**とりあえずやってみよう**」とすることが大事
- ・青葉通駅前エリアの**価値を高めること**
- ・仙台の**都心全体の価値を上げる**こと
- ・都心各所で行われているまちづくりと連携し、**都心全体で仙台の魅力を高める**こと
- ・目的や目指すところを**将来ビジョンにして共有**することが必要

4. エリアづくりの視点作成に向けて

4. エリアづくりの視点作成に向けて

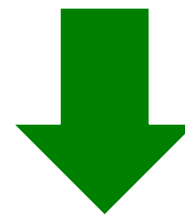
- 1 : 将来の「特徴、個性」に関すること
- 2 : 「表情」（人の感情や活動）に関すること
- 3 : 「姿勢」に関すること

5. 社会実験の目的

5. 社会実験の目的

利活用面における社会実験の目的

1. まちにあり方検討を踏まえた「表情」を生み出し、
市民や来訪者がどのような感じ方をするかを検証するため



将来ビジョンに反映

2. まちに「表情」を生み出すために活動を行う「人」につなげる

6. 12/22 第5回 利活用WG内容(案)

6. 12/22 第5回 利活用WG内容(案)

- エリアづくりの視点について
- 市民参画イベント（案）について